華山1914



# 

SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot\_north/267/



エリア

台北市

テーマ

歴史

建築

芸術・文学

# 役目を終えた「廃虚」が アートを楽しむおしゃれなパークに

文化創意産業園区

旧台北酒工場の跡地にオープンした、アートやショッピング のための複合施設。日本統治時代の1914年に建てられた 「芳醸株式会社酒造廠」が前身です。1922年からは官営 に、そして戦後は台湾公売局の所有(国有)になりました。7 ヘクタールもの広大な敷地に煉瓦造の工場や倉庫建築が 建ち並んでいましたが、1987年に工場は操業停止。10年 近く廃虚のまま放置されていたものを、芸術文化団体が アート空間としての活用を政府に要望。1997年から芸術文 化施設としての活用が始まりました。2009年からは、レストラ ンやカフェ、ライブハウス、シアター、さまざまな物販ショップ も入居し、おしゃれなエンターテインメント空間として、老若 男女に愛される場所に生まれ変わりました。古びた煉瓦の 壁に歴史を感じるとともに、最先端の流行も楽しめるスポッ トです。なお、「華山」は初代の台湾総督の樺山資紀の名前 に由来しています。「樺|の「木へん|を抜いて「華|にしたと いわれています。

## 学びのポイント

# 1.

### どうして工場は廃業してしまったのか?

2002年のWTO(世界貿易機関)加盟に到る経済のグローバル化が原因のひとつと言われています。WTOは自由貿易を推進する国際組織で、関税や障壁を撤廃してモノやサービスを自由に行き来(売り買い)させられるようにすることを目的としています。安い製品が外国から入ってくると、国内産業は太刀打ちできません。競争力・生産力に劣る台湾の古い巨大工場(かつての国営企業など)の多くが操業停止となり廃虚になりました。その大部分は都会の真ん中に位置していたため、高層ビルや商業施設など「儲かるビル」として再開発されるものもありましたが、政府(行政院)が「壊してしまう前に、歴史的・文化的価値を調査する」と決めて、文化資産(文化財)として大切にしようという意識が高まっていきました。これは日本ではほとんど見られない動きです。

2.

# 国有施設を民間のおカネと力で活用?

2000年に「促進民間参与公共建設法」が制定されました。国など公共が所有する施設・建築について、私企業が資金を出して改修工事を行うと、その後しばらくはその企業が運営を任されるという仕組みが出来ました。華山1914も、そのシステムで再生されたものです。政府の財政な担を減らせる一方、民間の大胆なアイデアや手法、そして資金を投入できるメリットがあり、台湾全土で歴史的建造物が再生される原動力になっています。

3.

### 工場建築はどうして アートに向いているの?

スパンが広くて天井が高い部屋が多いからです。あなたの学校の教室の、柱(または壁)の間隔は7mくらいでしょうか? この、部屋の幅のことをスパンといいます。工場は巨大な機械を設置するために、無柱(柱がない)の大きな空間で造られています。それが、さまざまなサイズの美術作品を作ったり設置したりするのにびったりなのです。講演会やワークショップにも使えますね。